

別添 2

山形県委託業務等成績評定審査基準（営繕版）

1. 審査基準の対象業務等

本成績評定審査基準により評定を行う業務等は、山形県委託業務等成績評定要領第4条に規定された委託業務等のうち、建築設計業務とする。

2. 審査項目等

審査は下表の項目及び細目について実施する。

項 目	細 目
業務の実施能力	業務実施体制 管理技術者、主任担当技術者
業務の実施状況	工程及び品質管理能力 調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観 提案力、業務執行技術力
設計図書の出来栄	図面表記 図面の不足、単純ミス 資料等の整理 数量計算書、数量調書等
設計の達成度	設計と条件の理解 提案内容、検討状況、コスト把握能力 施工図の知識

3. 審査基準

イ. 総括調査員審査基準

(1) 審査方法

総括調査員は、評定趣旨を十分に理解、尊重し、調査員の評定内容を精査の上、総合的に評価を行う。（評価項目の追加、削除、若しくは評価比重の変更は行わない。）

(2) 評 定

採点表（総括調査員採点表 様式(評)3 - 5）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定する。

(3) 事故等による減点

当該業務遂行中に受託者に起因する事故等が発生し、指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表-1を参考として、-15点まで減点することができる。

別表 - 1 受託者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭警告・注意	文書警告・注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止 1ヶ月を超える
考查点	- 3点	- 5点	- 10点	- 15点

適応の詳細については、山形県建設工事請負業者指名停止要綱等を参照のこと。

(4) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続に従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表 - 2 を参考として - 20 点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。

また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施する。

別表 - 2 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
考查点	- 10点	- 20点

ロ．調査員考查基準

(1) 考查方法

調査員は、評定趣旨を十分に理解、尊重し、評価を行う。

意匠、構造、電気設備、機械設備、及び各積算の各分野ごとに複数の調査員が指定されている場合は、各担当分野ごとに評価を行う。また、この場合、委託業務調査の中心的な役割を行う者（原則として、施行伺いの起案を行った者）が、主任調査員として、総合的に評価を行う。

（評価項目の追加、削除、若しくは評価比重の変更は行わない）

(2) 評 定

評定にあたっては、当該業務の履行状況及び調査業務の分担状況により、採点表（調査員採点表（各分野） 様式(評) 2 - 5 - 1、調査員採点表（各分野）【積算】 様式(評) 2 - 5 - 2、主任調査員採点表 様式(評) 2 - 5 - 3）の各評定要素の項目に従って、評定を行う。

ハ．検査員考查基準

(1) 考查方法

検査員は、評定趣旨を十分に理解、尊重し、総合的に評価を行う。

（評価項目の追加、削除、若しくは評価比重の変更は行わない）

(2) 評 定

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、採点表（検査員採点表（各分野） 様式(評) 4 - 5 - 1、検査員採点表（各分野）【積算】 様式 4 - 5 - 2）の各評定要素の項目に従って、評定を行う。

二．総合評定点について

総合評定点は、評定点集計表に各採点表の評定点を記載し、以下の重み付け、端数処理を考慮し算定する。

(1) 各分野比率

ア．標準的な新営工事の場合

意匠	0.35
構造	0.15
積算(建築)	0.10
電気設備	0.15
積算(電気)	0.05
機械設備	0.15
積算(機械)	0.05

イ．改修工事等の場合

各分野の業務人・日数を推定したうえで、その比率を参考として、各分野比率を決定する。その場合、評定者全員が合議し決定するものとする。

【参考例】

意匠・構造・電気設備・機械設備の比率

成果物の図面枚数に、図面一枚当たりの業務人・日数()を乗じ、各分野毎の業務人・日数を算出する。

H15 現在の新営総工事費 5 億円を参考とすると、

建築 4.79、設備 3.23 程度

積算の比率

各分野の 3 分の 1 程度と推定する。

各分野比率

及び の業務人・日数の比率を参考とし決定する。

(2) 主任調査員評定点と各分野評定点の合計の比率

主任調査員評定点	0.2
各分野評定点の合計	0.8

(3) 総括調査員評定点と調査員評定点の比率

総括調査員評定点	0.3
調査員評定点	0.7

(4) 調査職員評定点と検査員評定点の比率

調査職員評定点	0.6
検査員評定点	0.4

(5) 端数処理

総合評定点は、小数第一位を四捨五入し、整数とする。

附 則

この基準は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する

この基準の改正は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する

この基準の改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する

様式(評)1-5
評定点集計表

(建築設計)

業務名		総括調査員	主任調査員	調査員						
				各分野						
				建築			電気設備		機械設備	
				意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
評定者職・氏名 採点表の種別		3-5	2-5-3	2-5-1	2-5-1	2-5-2	2-5-1	2-5-2	2-5-1	2-5-2
業務の実施能力	業務実施体制	2	6			2		2		2
	管理技術者	5	29							
	主任担当技術者	3		5	5	8	5	8	5	8
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	2		3	3		3		3	
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	4		6	6		6		6	
	提案力、業務執行技術力	4		5	5		5		5	
	工程及び品質管理能力					1		1		1
	業務執行技術力					4		4		4
設計図書の出来栄	図面表記	2		1	1		1		1	
	図面の不足、単純ミス	2		2	2		2		2	
	資料等の整理	1		0.5	0.5		0.5		0.5	
	数量計算書、数量調書等					15		15		15
	資料の整理					5		5		5
設計の達成度	設計と条件の理解	2		2	2		2		2	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	7		9.5	9.5		9.5		9.5	
	施工図の知識	1		1	1		1		1	
調査職員評定点の計算	各分野評定点			100	100	100	100	100	100	100
	各分野比率			0.35	0.15	0.1	0.15	0.05	0.15	0.05
	x			35	15	10	15	5	15	5
	主任調査員評定点、各分野評定点の合計()		100	100						
	主任調査員評定点、各分野評定点の合計の比		0.2	0.8						
	x		20	80						
	総括調査員評定点、調査員評定点()	100	100							
	総括調査員評定点、調査員評定点の比率	0.3	0.7							
	x	30	70							
調査職員評定点()										

		職・氏名 採点表の種別	検査員						
			各分野						
			建築			電気設備		機械設備	
			意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
		4-5-1	4-5-1	4-5-2	4-5-1	4-5-2	4-5-1	4-5-2	
設計図書の出来栄	図書表記	2.5	2.5		2.5		2.5		
	図面の不足・単純ミス	6	6		6		6		
	資料等の整理	2	2		2		2		
	数量計算書、数量調書等			20		20		20	
	資料の整理			15		15		15	
設計の達成度	設計と条件の理解	4.5	4.5		4.5		4.5		
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	17	17		17		17		
	施工図の知識	3	3		3		3		
検査職員評定点の計算	各分野評定点	100	100	100	100	100	100	100	
	各分野比率	0.35	0.15	0.1	0.15	0.05	0.15	0.05	
	x	35	15	10	15	5	15	5	
	総合評定点、各分野評定点の合計()	100							

様式 (評)2-5-1
調査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

1/4

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力 主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くい違いがほとんど無かった。 ・ミスはなく、照査記録等も完備されていた。
	技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件等と整合が取れていた。 ・技術者・業務の管理・調整を十分に行い、契約図書と整合がとれていた。 ・技術者・業務の管理調整を行った。 ・図面・資料等に間違い、くい違い等がなかった。
	適切な工程管理	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
小計		5						-5	

様式 (評)2-5-1
調査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

2/4
該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】
調査員

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1	0.5	0	-0.5	-1		
工程及び品質管理能力	ミスの有無	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
	工程に対する管理	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。
調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観 業務の実施状況	設計と条件的確な理解、円滑な業務遂行	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた。あるいは入手困難な情報の収集に努力していた。
	打合せ内容の理解、記録	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・打合せごとに打合せ記録簿が作成された。 ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・打合せ後の対応(追加資料送付、進行状況連絡等)は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
	指示、協議事項に対する対応	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対した的確な回答がなされた。又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	内容の説明力、プレゼンテーション能力	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・説明の際に相手の理解度を把握するよう努力していた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
	創意工夫、積極的な提案	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
提案力、業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた。あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・検討項目は特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 ・関係法規等を十分に理解していた。
	関係法規の理解、特定行政庁等との調整	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ・特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 ・特定行政庁との調整を十分に行った。
小計		14						-14	

様式 (評)2-5-1
調査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】
調査員

3/4

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合が無く、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ミスはなく、照査記録等も完備されていた。
		十分な書き込み	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	0.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-0.5	・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現となっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
小計		3.5						-3.5		

様式 (評)2-5-1
調査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

4/4

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1	0.5	0	-0.5	-1			
設計の達成度	設計と条件の理解	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書にの実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。	
		1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた。 ・あるいは入手困難な情報の収集に努力していた。 ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
			1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務の目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を活用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		分担業務間の調整	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くい違いがほとんど無かった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
			3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭にいたコスト縮減に係わる提案があった。
		環境	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
	施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点はいずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	0	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					0	・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
			1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
	小計		12.5						-12.5	
合計		35.0						-35.0		
評定点		合計 + 6.5					30			

様式 (評)2-5-2

1/2

調査員採点表(各分野)【積算】

積算(建築)・積算(電気設備)・積算(機械設備)

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・当該業務を実施する上で、効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 ・当該業務を実施する上で、十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた。) ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 ・積算システムを熟知していた。
	業務の取り組み姿勢	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 ・図面の修正を必要とする間違い、くい違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
	分担業務間の管理・調整	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・全体業務を把握し、分担業務の調整が確実に行われた。 ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。 ・指示、指摘に対して確実に調整が行われた。 ・業務の進捗状況が常に把握されていた。
	適切な工程管理	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。 ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・質疑、協議事項が発生した場合の打合せが速やかに行われていた。 ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。 ・業務の進捗状況の連絡が必要な都度なされていた。
小計		10						-10	

様式 (評)2-5-2

2/2

調査員採点表(各分野)【積算】

積算(建築)・積算(電気設備)・積算(機械設備)

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目										
			優	やや	普通	やや	劣												
			1	0.5	0	-0.5	-1												
工程	困難な工程に対する管理	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 ・工程計画は、業務内容に適合したものであった。 ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 ・履行期間内に、発注者、受注者相互で内容が確認された成果物が提出された。 ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。										
			業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・見積処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった。 ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が的確であり、設計にも十分反映された。 ・設計図を正確に読みとる能力が十分であった。							
						設計図書理解力	1		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・仕様書・標準図等の関連図書の内容も十分把握している。 ・設計図書内の不整合点を把握的に報告している。 ・不整合点等に対し、適切な修正案を提案している。				
									積算基準類習熟度	1		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・数量積算基準を十分理解している。 ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 ・各種計算書が、基準に準拠している。	
												営繕積算システム	1		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1				
小計		5						-5											
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	15	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-15	・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。									
				資料の整理	的確なとりまとめ	5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-5	・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。						
	小計		20						-20										
合計		35						-35											
評定点		合計 + 65					30												

様式 (評)2-5-3
主任調査員採点表(総合)

1/1
該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	主任調査員 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	6	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-6	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 			
			評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-5	<ul style="list-style-type: none"> ・内部関係者への情報伝達が確認された。 ・内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 ・内部関係者への情報伝達は迅速であった。 ・管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。
	技術者・業務の管理調整及びコスト管理	6	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-6	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件等と整合が取れていた。 ・技術者、業務の管理・調整を十分に行い、図面・資料等に間違い、くい違い等がなかった。 ・コスト管理が十分に行われ、工事費予算額内に収まった。 ・コスト管理が十分に行われ、コスト配分がバランスよくなされていた。 			
			評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-5	<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後14日以内に業務工程表が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 ・業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。
	適切な工程管理	5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の一般的な特性が考慮されていた。 ・当該業務固有の特性が考慮されていた。 ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 			
			評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対する確かな回答がなされた。又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	設計と条件の的確な理解、円滑な業務遂行	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-5	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行の各段階で提案がなされた。 ・業務内容に合致した提案がなされた。 ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。 ・今後の検討課題が提案された。 			
			評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。
	指示、協議事項に対する対応	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めた。 ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 			
			評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
創意工夫、積極的な提案	5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 				
		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 	
事前準備、技術的検討	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 				
		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 	
積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」	-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 				
		評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」				-1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 	
合計		35			-35				
評定点			合計 + 6.5		30				

様式 (評)3 - 5
 総括調査員採点表

1/2

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1	0.5	0	-0.5	-1		
採点表 総括調査員用	業務実施体制	実施体制	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 			
	管理技術者	管理技術者としての資質	5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-5	<ul style="list-style-type: none"> ・業務全体を把握し、技術者・業務の管理調整を行った。 ・適切な工程、コスト管理を行った。 ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・創意工夫や積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。 			
	主任担当技術者	主任担当技術者としての資質	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-3	<ul style="list-style-type: none"> ・分担業務間の調整を行った。 ・技術者、業務の管理・調整を十分に行い、図面・資料等に間違い、くい違い等がなかった。 ・適切な工程管理を行った。 ・積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。 			
	小計		10		-10				
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	工程に対する管理	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、調整が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 			
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	設計と条件の理解、打合時の対応、説明能力	4	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-4	<ul style="list-style-type: none"> ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成、提出された。 ・打合せ後の対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が、打合せ結果の内容に沿ったものであった。 ・理解しやすい資料となっており、説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 			
	提案力、業務執行技術力	提案力、技術力	4	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-4	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた。あるいは入手困難な情報の収集に努力していた。 ・業務の内容・精度、作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 ・関係法規等を十分に理解していた。 			
	小計		10		-10				
設計図書の出来栄	図面表記	目的の達成度	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 			
	図面の不足・単純ミス	十分な書き込み、ミスの有無	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-2	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・業務成果は、図面等の不整合が無く、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 			
	資料等の整理	的確な取りまとめ	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1	-1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現となっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 			
	小計		5		-5				

様式(評)3-5
 総括調査員採点表

2/2
 該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】
 総括調査員

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1	0.5	0	-0.5	-1			
設計の達成度	設計と条件の理解	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・設計と条件を十分に理解していた。 ・当該業務と他の業務・事業の関連が理解されていた。 ・業務実施の各段階で必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。	
	提案内容、検討状況コスト把握能力	7	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-7	・プロポーザルで提案した内容が十分設計時に検討され、成果品に反映できた。(プロポーザルの場合) ・創意工夫をこらすなどにより、積極的な提案を行っていた。(プロポーザル以外の場合) ・十分な技術的検討がなされた。 ・分担業務間の調整を行った。 ・適切なコスト管理を行った。	
	施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点はいずれの場合も「1」とする。	イ 基本設計のみ 施工に関する一般的な知識	0	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					0	・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
		ロ その他 施工に関する一般的な知識	1	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1	・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
小計		10						-10		
合計		35						-35		
評定点		合計 + 6.5					30			

様式 (評)4-5-1
検査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】

1/2

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	2.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2.5	・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ミスはなく、照査記録等も完備されていた。
		十分な書き込み	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・厳しい工期、高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	2	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-2	・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現となっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
小計		10.5						-10.5		

様式(評)4-5-1
検査員採点表(各分野)

意匠・構造・電気設備・機械設備

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。【建築設計】
検査員

2/2

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優	やや	普通	やや	劣				
			1	0.5	0	-0.5	-1				
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の理解・整理	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。	
		困難な場合の設計と条件の整理	1.5	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-1.5	・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた。 ・あるいは入手困難な情報の収集に努力していた。 ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-4	・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。	
		十分な技術的な検討	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・検討項目は特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務の目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。	
		分担業務間の調整	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くい違いがほとんど無かった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。	
		コスト管理及びコスト縮減	4	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-4	・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭に置いたコスト縮減に係わる提案があった。	
		環境	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。	
	施工面の知識	イ基本設計のみ ロその他	施工に関する一般的な知識	0	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					0	・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
			施工に関する一般的な知識	3	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-3	・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
	小計		24.5						-24.5		
	合計		35.0						-35.0		
	評定点		合計 + 6.5					30			

様式 (評)4 - 5 - 2

1/1

検査員採点表(各分野)【積算】

積算(建築)・積算(電気設備)・積算(機械設備)

該当する評価細目の「」を「」に置き換える。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量 調書等	成果品のレベル	20	評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1					-20	・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。 ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。
				評価項目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」 =2 「普通」 =3 「やや優」 =4 「優」 -1						
合計		35						-35		
評定点		合計 + 6.5					30			